



令和5年8月31日発行

横浜市都筑区荏田南町 6 9 4 番地 [Tex911-0149] [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

「ひと・もの・こと」のつながりの大切さ ~在校生や卒業生、地域にとっての母校でありたい~

校長 伊藤 智樹

新型コロナウイルス感染症が5類に変更されてから迎える初めての夏休みとなりました。それに伴いこの 夏は、多くのイベントが復活した夏休みでした。荏田小の学区内の連合町内会主催の夏祭りには、地域の皆 様がたくさん集まり、本校の子どもたちも久々の夏祭りを満喫している姿を見ることができました。また、 夏休み最後の土曜日には本校校庭で PTA と創立 50 周年記念事業実行委員会の共催による荏田小夏祭りが盛 大に開催されました。夏の素敵な思い出として子どもたちの心に残ったことだと思います。

荏田小夏祭りには、卒業生も大勢来てくれました。「校長先生、覚えていま すか?」「○○先生は来ていますか?」と声をかけてくれました。卒業生が旧 担任等を囲みながら教師も卒業生も笑顔で話していました。私が荏田小でか かわっている卒業生は現中学1年生~高校1年生です。6年生時の面影を残 しながらも成長している姿、旧担任等と談笑している様子を見て、母校の意 味をあらためて実感することができました。



【父親の会 射的】

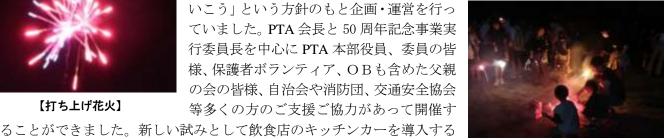
また、手持ち花火の時間帯には、子どもたちはもちろん保護者、そして卒業生がワイワイしながら笑顔で 手持ち花火をしている姿を見て私も幸せな気持ちになってきました。教師をやってよかったなあと思える瞬 間でもありました。



【打ち上げ花火】

この夏祭りの取組は昨年度から始まりましたが、今年は創立50周年の節目 でもあり、昨年度よりバージョンアップさせた内容でした。PTA 完全任意加 入制移行に伴い、お祭り実施にあたっては「楽しみながらできることをして

いこう」という方針のもと企画・運営を行っ ていました。PTA 会長と 50 周年記念事業実 行委員長を中心に PTA 本部役員、委員の皆 様、保護者ボランティア、OBも含めた父親 の会の皆様、自治会や消防団、交通安全協会 等多くの方のご支援ご協力があって開催す



【校庭での手持ち花火】

ことにより PTA の負担軽減につなげるなど「持続可能な PTA 活動」も念頭 に置いたものでした。打ち上げ花火・ナイアガラには、地域の方々もたくさん集まり、本校の子どもたちも お家の方と一緒に花火鑑賞に来ていました。PTA 会長のもとには地域の方から開催への労いとお礼の言葉が 多数寄せられていました。

「ひと・もの・こと」それぞれがつながっている社会、それが人間社会であると思います。学校は「ひと・ もの・こと」のつながりを大切にしながら子どもたちを育んでいく学舎だと考えています。今回開催された 夏祭りは、**夏祭りということ(事象)**の中で**花火や校内探検等の様々な出し物というもの**を通して、**ひと(人)**が集ま り、関わり合いが生まれることで相互の理解を深め**よりよい社会を創っていくこと**につながると思います。

11月18日には50周年記念式典・祝賀会を開催する予定です。「ひと・もの・こと」のつながりを大切に し、在校生や卒業生、地域にとっての母校を目指して教育活動に努めて参りたいと思います。子どもたちの成 長に向けて教職員一同力を合わせていきたいと思います。